

あいち多文化共生タウンミーティング 2019@小牧 開催結果報告書

2019年7月6日(土)、外国人の子どもの就学・学習支援に関わる方を対象としたタウンミーティングを開催しました。休日にもかかわらず、NPOの方、市町の国際交流協会の方、高校生、開催地域に住む日本人県民の方・外国人県民の方、県外でテーマに関する活動をされている方等、45名の参加者の皆様にお集まりいただきました。開催結果を以下にまとめましたので、御覧ください。

開催概要

テーマ 「外国人の子どもの就学・学習支援を考える」

場 所 小牧市公民館 4 階 視聴覚室(小牧市小牧 2 丁目 107)

日 時 2019 年 7 月 6 日(土曜日)午後 1 時から午後 4 時まで

当日の流れ

1 愛知県の取組紹介 (説明者 愛知県多文化共生推進室職員)

2 事例報告

(1) 「プレクラスにおける支援について」

報告者: 森 顕子氏(NPO 法人プラス・エデュケート 理事長)

(2) 「プレスクールにおける支援について」

報告者: 川崎 直子氏(愛知産業大学短期大学 准教授/

一般社団法人かにえ子ども日本語の会 代表理事)

3 ワークショップ

1 愛知県の取組紹介

この後の事例報告やワークショップの参考としていただくために、テーマに関する愛知県の取組や、昨年度愛知県が実施した「プレスクール」及び「プレクラス」の実施状況調査結果を紹介しました。

※平成 30 年度「プレスクール」及び「プレクラス」の実施状況調査結果について、詳細は次のウェブページを御覧ください。「URL: <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/tabunka/30pure-kekka.html>」

2 事例報告

多年にわたり、この地域で外国人の子どもの就学・学習支援に尽力されている講師のお2人から、支援の現場における現状などについて、実際に使用している教材や、支援の様子を記録した動画等を交えながら、事例報告をしていただきました。



(森 顕子氏)



(川崎 直子氏)

3 ワークショップ

ワークショップでは、3つのグループに分かれ、現状把握、できること・やってみたいことの検討を行いました。現状把握では、参加者同士、日頃の支援をしている上で感じている課題や経験などを共有しました。また、ワークショップのまとめとして「明日から〇〇します。〇〇してみたいが、自分の力だけではできないので、〇〇の〇〇が欲しい！そのためにまず〇〇します。」と書かれたまとめシートに、一人ずつそれぞれの立場でできること・やってみたいことをまとめていただきました。以下、シートに記載された内容の抜粋です。

・学校・保育園に入る前の子どもの状況把握をしてみたいが、自分の力だけではできないので、市役所・外国人の友人から情報提供に関して協力が欲しい。

・明日から、知立団地のコミュニティを調べます。外国人と日本人とが共存できるイベントをしてみたいが、自分の力だけではできないので、市内のコミュニティに人を集めるための協力をして欲しい。そのためにまず、相手方のイベントに参加します。

・自分の支援の現場では、外国人の子どもの保護者が無関心な方が多い。担当の子どもにもうちょっと頑張ってもらいたい時は、はっきりと「弱点」「注意点」を手紙で保護者に報告します。子どもそれぞれの習得度別に指導をしてみたい。

・来週から、家庭訪問をします！全員の家庭訪問をしたいが、自分の力だけではできないので、他の市町の先輩方の協力が欲しい。

・明日から、プレスクールの立ち上げに向けて行動します！オリジナル教材づくりをしてみたい。

・明日から、外国人支援の活動（生活相談）をします！外国人の就学支援をしてみたいが、自分の力だけではできないので、学校などの専門的な協力が欲しい。そのためにまず、学校に連絡して情報収集します！



・明日から（も）、ポルトガル語も勉強しながら、外国人の子ども・保護者を支援します！子ども・保護者とのコミュニケーション（日本語支援）をしてみたいが、自分の力だけではできないので、市の協力が欲しい。そのためにまず、今日のタウンミーティングで得たことを周りに知らせます。

・明日から、分かりやすく楽しい日本語を教えられる教員を目指します！外国人の子どもの成長の手助けをしてみたいが、自分の力だけではできないので、国・県・地域の経済的な支援が欲しい。そのためにまず、地域の外国人の方々を支援します。

・明日から、子どもたちのできること・できないことを具体的に知るようにします！オリジナルの教材づくりをしてみたいが、自分の力だけではできないので、スタッフのアイディアが欲しい。そのためにまず、今日の講座の話をします。

・明日から、子どもの就学・学習支援の状況を知ることを行います！現状を知らない児童生徒に就学・学習支援の状況を伝える活動をしてみたいが、自分の力だけではできないので、県や民間団体の情報提供や現場見学に行くための協力が欲しい。そのためにまず、現場の取材をして、状況を知る活動を行います！

・明日からも、今の仕事をがんばります！SC、SSWの習得をしてみたいが、自分の力だけではできないので、大学などの専門家の協力が欲しい。そのためにまず、情報発信をします。

・明日から、子どもの日本語支援(いつも通り)します！特別支援教育と日本語教育を併せた教材開発をしてみたいが、自分の力だけではできないので、県及び国の経済的な協力が欲しい。そのためにまず、科研費を進めます、10月12日にシンポジウムを開催します。

・自分の周りに外国人児童生徒がおらず、今日のタウンミーティングで初めて知ったことばかりだった。そこで、明日から、自分の周りにいる同じようにこの現状を知らない人たちにこの現状を伝えます。自分の力だけでは出来ないなので、県や支援団体の方に現場見学や情報提供などの協力が欲しい。

4 ワークショップ 共有

最後に、それぞれのグループで話し合った内容を全体で共有しました。

グループ1

「子どもの現状を外国人の保護者にきちんと伝えるのが大事」という話が出た。というのも、外国人の保護者は、子どもが小学校中学校を順調に卒業するので、自分の子どもは日本で生活出来るだろうと安心していたら、高校に行って日本語が分からないために留年したり、勉強について行けなくて困ってしまったという事例が多くあるという話が出たからである。また、夜間中学や・昼間定時制高校など、外国人の子どもの実情に即した様々な学びの場があると良いという意見も挙がった。

グループ2

外国人の保護者の教育に関して関心がない方にどういう風にアプローチしたらいいのか分からないということが、みんなが抱えている悩みであった。説明会を開いても本当に説明が必要な人が来てくれないことが多い。グループにいた外国人の保護者の方からは、「説明会」というのはハードルが高いので、何かのイベントと一緒に組み合わせると行きやすいのでは、と提案してもらった。

グループ3

私たちのグループでも、外国人の保護者向けにどのようにしてアプローチしていくか、子どものことや、家のことを否定的に思われないように丁寧に現状を伝えていくか、などが話題になった。その中で、ただ説明会を開くのではなく、「自ら動いて伝えていく」「来てもらうのではなく、会いに行く」ということが大切であるという意見が挙がった。

また、学校現場等で、研修や事前知識がなにもないまま外国人の子ども担当になり、とても困ったという事例があるなど、指導者のための研修、指導のノウハウを共有できる場があればいいというのが現状である。その意味でも、今日の会で得た知識や学びは、それぞれが持ち帰ってしっかり共有していこうという話になった。

アンケート結果(一部抜粋)

※回答数 29 名

1 このタウンミーティングを何で知りましたか。(複数回答有り。)

チラシ	8
県のホームページ	2
県の facebook	3
知人からの紹介	7
新聞	5
その他	5
無回答	0

【その他】メール,豊田市国際交流協会,職場,春日井市国際交流ルーム,教育委員会からのお知らせ

2 愛知県の取組紹介の感想をお聞かせください(一つ選択)

とてもよかった	15
よかった	10
ふつう	4
よくなかった	0
全くよくなかった	0

2-1 感想の理由をお聞かせください(複数選択可)

活動を進める上での参考になった	14
これまで知らなかった話を聞くことができた	14
聞いた事がある話ばかりだった	2
つまらなかった	0
多文化共生社会づくりに興味がわいた	2
テーマについてもっと知りたいと思った	5
多文化共生社会づくりについて知識を深めたいと思った	5
その他	1
無回答	0

【その他】内容は素晴らしいのですが、県の側がもう少し市町村の行政と連携できると良いのではないのでしょうか。

3 事例報告の感想をお聞かせください(一つ選択)

とてもよかった	20
よかった	9
ふつう	0
よくなかった	0
全くよくなかった	0

3-1 感想の理由をお聞かせください。(複数選択可)

活動を進める上での参考になった	19
これまで知らなかった話を聞くことができた	16
聞いた事がある話ばかりだった	0
つまらなかった	0
多文化共生社会づくりに興味がわいた	2
テーマについてもっと知りたいと思った	6
多文化共生社会づくりについて知識を深めたいと思った	7
その他	2
無回答	0

4 【ワークショップに参加された方にお聞きます。】ワークショップはいかがでしたか。感想をお聞かせください(一つ選択)

とてもよかった	11
よかった	8
ふつう	1
よくなかった	0
全くよくなかった	0
無回答	0

4-1 感想の理由をお聞かせください(複数選択可)

活動を進める上での参考になった	11
これまで知らなかった話を聞くことができた	8
聞いた事がある話ばかりだった	1
つまらなかった	0
多文化共生社会づくりに興味がわいた	4
テーマについてもっと知りたいと思った	3
多文化共生社会づくりについて知識を深めたいと思った	4
その他	2
無回答	0

5 【本日のテーマに関する現場で活動されている方にお聞きます。】今後、支援者同士が情報交換・意見交換する場は必要ですか。

【理由】

- ・教材ややり方
- ・今日発表以外の市町でのプレスクール状況が知りたい、活動の参考にしたい
- ・困っていることの解決に繋がる
- ・更なる進展のため
- ・知らないことを知ることができる
- ・多数のアイデアの「引き出し」が必要
- ・地域の中での支援に限界を感じているから。他の地域のことをもっと知りたいので必要だと思う。
- ・幅広い人々、団体から情報を得たい
- ・他の取組を知って改善できると思うから
- ・私たちに「できること」「できないこと」を明確化することができる

6 今後、タウンミーティングでテーマとしたいこと、やりたいことなどがあれば教えてください。

必要	21
不要	0

- ・学校や行政と NPO が多文化共生について
- ・子どもの学習支援の目標設定の仕方とそのためのカリキュラム作り
- ・外国人市民との意見交流
- ・小学校での進路指導
- ・技能実習生への生活者としての支援
- ・日本に在住されている外国籍の方が発表される場が欲しかったです。
- ・日本語指導者(子ども・大人)養成講座
- ・妊婦さんからの支援
- ・発達障害について(大人も含め)

おわりに

今回のタウンミーティングを通して参加者の皆様から頂きました御意見は、今後関連する施策を進める上で参考にさせていただきます。参加してくださった皆様、ありがとうございました。

あいち多文化共生タウンミーティングは、2018 年3月に策定した「あいち多文化共生推進プラン 2022」の重点施策の一つで、毎年3回開催することとしています。日頃、多文化共生に関心を持って活動されている方も、そうでない方も、どなたでも参加していただくことができます。今後も開催して参りますので、ぜひ御参加ください。



愛知県多文化共生シンボルマーク

多文化共生の社会づくりについて
広く県民に親しんでもらうため、
2013 年度に決めました。